

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所「北須磨キッズ」		
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日 ～ 令和8年3月31 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和8年6月16日 ～ 2026年 6月 26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16 (回答者数)	16
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年6月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・公認心理師、保育士、指導員などは、経験豊かなベテラン職員がそろっている。 ・利用者1～2名に支援者1名の配置がされておりきめ細かい支援が行われている。	・集団の人数が多くなると周りの刺激に左右され落ち着かなくなるお子さんが多いため、できるだけ小集団を心がけ一人一人にきめ細かくかわっていけるように工夫している。	・令和8年度から言語聴覚士を採用しさらに専門的な療育が行えるようになりました。
2	・療育の中心は小集団活動と個別での療育です。お子さんの利用開始時に発達検査を行いお子さんの特性を把握しています。検査結果は、保護者、職員ともに共通理解し療育を始めます。	・検査結果については、職員には公認心理師から話し話がある。その後保護者、サービス管理者、公認心理師、担当保育士を交え報告会を持っている。	・今後も続けて、より充実した療育を目指していきます。
3	・毎週火曜日午前は全職員による従業員会議を開催している。発達検査結果の確認やケース会議、1週間のプログラムの確認など共通理解できる時間を持っている。 ・他機関の研修にも積極的に参加している。	・職員間の共通理解のために大切な会議として、今後も継続して行います。	・従業員会議では、できるだけ全職員が発言できるように心がけ、障害児の理解を深まるように運営を目指していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時の対応、避難訓練の実施など年間計画を立て実施していますが保護者になかなか伝わりにくい状況です。 ・また感染症などのマニュアルも作成しているが保護者への周知が十分でない。	・日常的に意識して保護者にお知らせを行っていない。 ・非常時の対応は利用開始時の重要事項説明時に詳しく説明している。 ・避難訓練は実施月のキッズ便りでお知らせしている。	・いま行っている方法以外にどのようなことができるか考えていきたい。
2	・事業所での送迎児が増え、保護者と直接話す機会が少なくなった。	・送迎サービスは今後も増えていくことが予想される。	・HUGシステムを導入し日々の連絡がうまくつながる保護者もある。ただ使われていない保護者もありできるだけ多くの方に利用にしていただけるように広報していきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所「北須磨キッズ」

公表日 2026年7月7日

利用児童数 42

回収数 31

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	保護者 ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29	1	0	1	・こどもが活動するのに、広くていいと思う。 ・増設され、更に十分なスペースが確保されている。 ・部屋の中だけでなく、外での活動ができ	・増設部分も有効活用し言語聴覚士の療育場所として使用が始まりました。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	29	0	0	2	・常にたくさんの先生がいっしょやって、丁寧な支援を受けていると感じます。 ・たくさんの先生がいて、安心して預けることが出来ます。	・基準以上の職員配置となっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	0	0	1	・次にする活動など、一目でわかるようになっていて、わかりやすいです。	・個人別のスケジュールを示し、1日の流れを理解し見通しをもって活動できるようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	0	・広々としてきれいにされていると思う。 ・少しの変化も気づいてくださり、アドバイスもいただいています。 ・とてもきれいにされている。 ・学ぶ空間は整えられ、季節によって外の植物が変わるのを楽しみにしています。	・大きな集団が苦手なお子さんも多く、できるだけ少人数で過ごし、リーダーの話がしっかりと聞き取れるように工夫しています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	0	0	0	・切り替えができるように、色々な方法を試しながら見つけてくれています。 ・いろんな子がいて、(子どもの数なり)たくさんいる中で一人一人のことを考えられていると思う。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	0	0	2		・ホームページに掲載しています。 ぜひご覧ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	0	・子供にしっかり向き合って考えてくれていると感じています。	・モニタリングにはあらかじめ保護者からの生活チェックリストを記入していただいたり、ご希望をお聞きするなどしています。 保護者からのモニタリングと担当職員との話し合いで作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	0	0	4		・内容についての説明は面会でできる方が少なくなりました。 できるだけ時間をとって直接お話ができるように工夫していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	0	0	0	・とても思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	0	2	・季節ごとの活動もあり、子どもも楽しそうです。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	4	1	12	・(通っている)保育所との連携も十分行ってくださっているの、助かる。	・ほとんどのお子さんが幼稚園幼稚園保育園に通われています。特に必要を感じておりません。
保護者 への 説	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0	・支援内容だけでなく、子どもの様子をしっかり教えてくれます。 ・とても毎回詳細に説明されている。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	0	0	4		・毎年、保護者同士の話し合いの場を設けています。回数を増やしてほしいとのご要望があり検討を行います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1	0	1	・お迎えに行くと、いつも子どもの今日あったことを伝えてくれている。 ・活動後にできるようになったことや課題を細かく伝えてくださり、家でも取り組みます。 ・連絡帳だけでなく細かい内容を伝えてもらっています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	0	1	1	・連絡帳でも相談事があればすぐにアドバイスを下さり、助かっています。 ・親へのアドバイスが適切でありがたい。 ・困ったことなどあれば、助言いただけるので、ありがたいです。 ・連絡ノートに困りごとを書くこととすぐに対応してくれます。	・連絡帳でのやり取りについては今後も続けていきます。 ・お子様の大切な育児日誌として保管いただければ幸いです。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	2	0	0	・皆さん本当に支援してくださっていると感じています。	

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	22	3	0	6	・お知らせを見たことはあるが、参加したことはないので「わからない」で回答しました。	・保護者の方々の交流会の回数を増やしていきます。 ・令和8年度より土曜日を親子療育日としました。お父様の参加も多く家族支援につながっています。多くの方の参加をお待ちしております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	1	0	3	・困りごとを相談した際に、すぐに療育内容に組み込んでいただけた。 ・来年度、就学に向けて、会に参加できたらと思います。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	0	0	1	・連絡ノートに今日の内容を書いてくださるので助かります。	・日々の連絡については連絡帳で行っています。 ・またHUGシステムを導入しましたので連絡がスムーズにできるようになりました。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	0	0	3	・毎日のおたよりがとても分かりやすく、楽しみにしています。 ・通信をととても楽しく読ませていただいています！	・今後も続けてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	0	9		・各種マニュアルについては策定されていますが内容について詳しくお伝えできておりません。 ・避難訓練については年4回実施し、キッズ便りでお伝えしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	2	8		・年4回訓練を実施火災、地震、風水害、不審者侵入の訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1	0	3		・戸外での活動は駐車場になります。暑さが厳しいときには日陰テントを使用し、また水分補給何度も行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	4		・小さなけがなども発生時には保護者に連絡を入れています。
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	29	2	0	0	・キッズが大好きで、毎回楽しく行っています。 ・キッズに行くことをとても楽しみにしています。課題の日は特にウキウキ通っています。	・今後も楽しく、また一人一人のお子さんの成長発達をきめ細かく支援していく事業所を目指し、従業員一同がんばってまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	3	0	0	・今日はなにをするのかといつもワクワクしている。 ・幼稚園で疲れて帰ってくるとぐずることもありますが、先生たちが優しく受け止めてくださいます。 ・とても楽しんでいます！帰る時にキッズを選んで本当に良かったです。 ・いつも子どもの気持ちに寄り添って、子どもが楽しく通えている。 ・本人も親もかなり助けられていると感じています。 ・とても満足している。 ・子どもに合った支援をしてくださっています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	0		

令和7年度の自己評価結果を神戸市の書式に則り公表いたします。
アンケート回答にご協力いただいた皆様、あいりがとうございました。
いただいた評価・ご意見は今後の事業所運営に活かしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 「北須磨キッズ」				
		公表日 2026 年 7 月 7 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	0	・療育室がもう少し広ければと思うが、グループ毎に工夫して使用されていると思う。 ・療育室1、2、3と別棟を工夫して使っている。	・療育室①は集団療育、療育室②、③はグループごとの個別療育室、仲間遊び、絵画療法、親子相互療育などに使用している。 ・グループごとの小部屋となり活用できるようにした。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	0	・十分すぎるほどの職員体制であると思う。	・職員の配置については十分な人数となっている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13		・トランジションコーナーを作成し、一日の流れを見通しをもって過ごせるようにしている。 ・午前利用の年少児には絵カードなどで次の活動を表示している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・温度、湿度計を設置し管理している。 ・空気清浄機も設置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・様々な刺激で落ち着かないお子さんについてはより小さなグループにして過ごす場所を設定している。	・別室の増築により保護者の面接室を別に作ることができより個別の場所の確保を行った。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	13	1	・職員の勤務体制がバラバラで難しいところも多いと思うが、職員会議日を有効に使えたらと思う。	・従業員会議で意思統一をする機会を持ち、話し合いは行われているが、話がつかないものはもう一度確認が必要。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0		職員全員で話し合う機会を作り、毎年実施している。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	・週1回火曜日午前の会議に職員全員が参加できるようにしている。 ・毎週火曜日に必ず職員会議を行い、その他その都度話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	9	・外部評価は未達成 ・わからない	・第3者外部評価は行っていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14		・他機関での研修案内も充実している。 ・毎年、市社協の研修を全員2講座受講し、そのほかに都度個別に案内がある。	・7年度は言語聴覚士の研修を全職員対象に実施した。 今後も他機関の研修に積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	14	表を	・ホームページに掲載	・公表済み。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14			・支援計画作成前に保護者へのチェックリスト、保護者の希望表をお渡し、ニーズを聞き取っている。 ・今後も続けていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・週1回の従業員会議で職員全員が共通理解している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		・担当職員には共有している。	・個別支援計画の内容が療育に関わる全職員に計画に沿った療育ができるようにする。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13		・フォーマルなアセスメント:キッズスケール インフォーマルなアセスメント:PEP-R、日々の記録	・今後も継続して行います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14		・保育センター等主となる通園施設と連絡会を始めている。 ・利用児童の保護者や園との連携を図っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14		・午前チーム、午後のABチームそれぞれで活動プログラムを立案している。 ・ミーティング時に話し合われていると思う。 ・毎週職員会議後に実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		・年間計画の作成を目指している。	・年間計画を見直しをもって進めることができるように作成進行中。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	14			・午前、午後とも療育時間内に集団活動と個別療育の時間を設けている。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		・職員の出勤状況が一定でないので、記録をとり情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14			・朝は9時に打ち合わせ会議を行う。 ・午後の療育については終了後、記録をとりながら情報交換を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14			記録は集団療育、個別療育ともしっかりとっている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			保護者にはアンケートをとり、職員は担当者会議を行い支援計画作成準備を行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		・登録者は少ないが、連携している。キッズだよりに再度掲載し、周知を図る。 ・今後取り組む課題 ・相談支援事業所を利用している家庭が少ないの	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12		・関係機関からの紹介・依頼を受けた時は人数調整等をしながら努力をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13		・法人内で連絡会を立ち上げる計画	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13		・ネットワークプランで実施 ・保護者にキッズでの支援内容等の書類を渡している。	就学前には各学校に引き継ぎ書を送付している。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8		児童発達支援センターの見学、巡回指導について積極的に参加している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	11	・長時間の利用ではなく、ほとんどの児童が主となる通園施設があるため、必要を感じない。 ・保育園などに行っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14		・個別に相談や課題見学等も行っている。 ・土曜日には親子プログラムも開始している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14		・PCIT実施 ・個別に相談や課題見学等も行っている。土曜日には親子プログラムも開始している。 ・親子療法	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14		・利用開始時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14		・保護者にアンケート実施。 ・日々の療育でこども本人の意向を聞く。 ・アンケートを取っている。	・子どもの意向は聞けていないが、本人の意向を聞くことは今後尊重し、検討していく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	1	・送迎が増えて、保護者と接する時間が減った。 ・送迎をしているお子さんについては、難しい。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14		・就学前などに実施している。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13		・兄弟児へのサポートはないが、個別には保護者の相談に応じている。 ・保護者会は開催されており、兄弟児については個別相談で対応していると思う。 ・保護者会は開催されており、アットホームな雰囲気のは是非継続していきたい。 ・土曜日の療育に兄弟児が参加されることはあるが、交流まではしていない。	・毎年保護者交流会を実施し好評を得ている。 ・毎年続けて行きたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14			・支援場面の見学、個別療育の見学など随時受け止めている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14		・北須磨キッズだよりを月1回発行 ・HUGでの連絡調整をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14		・個人情報の保護については利用時に説明し同意を得ている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13		・日常は連絡帳や電話、HUG等利用して児童の状況を伝えるようにしている。支援計画を立てる際や見学・相談依頼を受けることで保護者との情報共有を図っている。 ・個人に合わせて留意している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・事業所見学者を受け入れている。 ・地域からの希望があれば、見学等受け入れている。 ・地域イベントの手伝いをしている。	・令和7年度は地域中学校からのトライやるウィークの受け入れをした。 ・今後も、実施していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14		・重要事項説明時にお話している。 ・避難訓練等の際の状況は、毎月のキッズだよりでお知らせしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14		・業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に避難等の訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13		・現在の利用児童に対象者はいません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12		・おやつのみ提供のため、保護者からの申告による医師の指示書を受け取っていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12		・保健所からの「感染症等訪問指導」を毎年受け、助言等をいただいています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12		・安全確保に関しては、契約時にお伝えしているが、随時、お伝えできるようにしている。	・避難訓練実施後はどのような内容で行ったかを毎月の「キッズ便り」に掲載し、お知らせしている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14		・必ず記録を取り、従業員会議で共通理解を図る。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14		・1年に1回、全職員を対象に研修を行っている。	・虐待事案等の発生は見当たらないが不適切な言動や行為がないか、また身体拘束などについても今後も研修を行っていきたい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	2	・保護者には身体拘束について、説明をしている。	・特に過度な身体拘束を行わなければならない利用者はないが、そのような事案が発生したときの対応を決めておきたい。